

川崎市建築物環境配慮制度受付番号 17007

建築物名称	プラウド宮前平
建築主	野村不動産株式会社 住宅事業本部 事業推進三部長 足立 総一郎
建築物の所在地	川崎市宮前区宮前平二丁目10番2、10番4、10番5
設計者氏名、建築士事務所名	中條 広隆 株式会社長谷エコーポレーション 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	11,262.26m ²
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上5階、地下1階
工事完了年月	平成31年2月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用、燃料系潜熱回収瞬間式給湯器
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	太陽光発電、燃料系潜熱回収瞬間式給湯器

CASBEE川崎

■使用評価マニュアル: CASBEE-川崎2017年版

使用評価ソフト: CASBEE-川崎2017(v.1.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ブラウド宮前平	階数	地上5階、地下1階
建設地	川崎市宮前区宮前平2丁目10番2、10番4、10番5	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	469人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2019年2月 竣工	評価の実施日	2017年5月24日
敷地面積	5,746.01 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	2,879.62 m ²	確認日	2017年5月25日
延床面積	11,262.26 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 69% (95 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 69% (95 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 69% (95 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6

音環境	3.2
温熱環境	3.8
光・視環境	3.5
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	3.2
耐用性	2.9
対応性	3.0

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6

水資源	2.2
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	4.2
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.8
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市景観計画に沿った色彩とした	2.3/4.3	2.6
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	潜熱回収型給湯器エコジョーズの採用	0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.1
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.2 外皮性能 3 3.1 3.1.3 昼光利用設備 3.2 3.2.1 昼光制御	断熱等級4を取得 バルコニー及び、カーテンレールの設置	5.7/7.3	3.9
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	実のなるシラカシ、モチノキを植栽し野生動物の生息域に配慮している 空地率45%以上を確保	1.1/2.3	2.3
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	断熱等級4を取得 潜熱回収型エコジョーズを採用	3.8/5.0	3.8
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 3.2 フロン・ハロンの回避		2.5/4.7	2.6
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	断熱等級4を取得。潜熱回収型エコジョーズを採用	0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.1
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数		0.3/0.5	3.6
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。LGS工法を使用	2.1/4.0	2.6
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制		0.3/0.4	3.3
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	3.0
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	実のなるシラカシ、モチノキを植栽し野生動物の生息域に配慮している。 空地率45%以上を確保	1.1/2.3	2.3
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	断熱等級4を取得 潜熱回収型エコジョーズを採用	3.8/5.0	3.8
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	潜熱回収型エコジョーズを採用。住宅性能表示制度 断熱等級4を取得	0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **3.0**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数		0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の継続利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.7/1.2	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	断熱等級4を取得 潜熱回収型エコジョーズを採用	3.8/5.0	3.8

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		重点項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	G	W	R	H	評価点		重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質										3.1	
Q1 室内環境							0.40		-	3.6	
1 音環境						3.0	0.15	3.2	1.00	3.2	
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音						3.0	0.50	3.5	0.50		
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能					RC界壁厚さ=180mm+木軸二重壁としている	3.0	-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					専有部はL数50以下を目標として必要スラブ厚さを検証	3.0	-	4.0	0.20		
1.3 吸音						-	-	-	-		
2 温熱環境						2.6	0.35	4.0	1.00	3.8	
2.1 室温制御						3.0	0.50	4.0	1.00		
1 室温						3.0	0.63	-	-		
2 外皮性能		W			日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」等級4相当	3.0	0.38	4.0	1.00		
3 ゾーン別制御性						-	-	-	-		
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境						2.3	0.25	3.7	1.00	3.5	
3.1 昼光利用						1.8	0.30	3.4	0.50		
1 昼光率					W-Eタイプ 昼光率Lv5	1.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口						-	-	1.0	0.30		
3 昼光利用設備		W				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策						2.0	0.30	4.0	0.50		
1 昼光制御		W			庇とカーテンを組み合わせてグレア対策している	2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度						3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境						3.6	0.25	3.6	1.00	3.6	
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質					ほぼ全体的にF☆☆☆☆を使用している	4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理						-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-		
2 喫煙の制御						-	-	-	-		

Q2 サービス性能					0.30	-	-	3.1	
1 機能性					3.3	0.40	3.2	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	4.0	0.60	
1	広さ・収納性				-	-	-	-	
2	高度情報通信設備対応			各住戸100Mbitクラスのインターネット設備を整備	3.0	-	4.0	1.00	
3	バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					4.0	0.30	2.0	0.40	
1	広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3	内装計画			内観パースを作成しながら、コンセプトに沿って見え方、素材を決定する	4.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.6	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数	R		住宅の品質確保の促進に関する法律で等級3相当	5.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	R			2.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	R			3.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	R			3.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	R		主要な用途上位3種のうち2種以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	R			3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備				1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備				1.0	0.20	-	-	
3	電気設備				3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備				2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり			階高 2.92mを確保	1.0	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				G W H	2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				G	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				G W H	3.0	0.50	-	-	

LR 建築物の環境負荷低減性										3.3		
LR1 エネルギー									0.40	-	-	3.8
1	建物外皮の熱負荷抑制	W	H	住宅性能表示制度断熱等級4	4.0	0.20	-	-	-	-	4.0	
2	自然エネルギー利用	W	H		3.0	0.10	-	-	-	-	3.0	
3	設備システムの高効率化	W	H	[BE][BEIm] = 0.89	4.2	0.50	-	-	-	-	4.2	
4	効率的運用				3.0	0.20	-	-	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価				-	-	-	-	-	-		
	4.1 モニタリング	W	H		3.0	-	-	-	-	-		
	4.2 運用管理体制	W	H		3.0	-	-	-	-	-		
	集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	-	-		
	4.1 モニタリング	W	H		3.0	0.50	-	-	-	-		
	4.2 運用管理体制	W	H		3.0	0.50	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル									0.30	-	-	2.6
1	水資源保護	W	R		2.2	0.20	-	-	-	-	2.2	
	1.1 節水				1.0	0.40	-	-	-	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-		
	1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-	-	-		
	2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-	-	-		
2	非再生性資源の使用量削減				2.7	0.60	-	-	-	-	2.7	
	2.1 材料使用量の削減	W	R		2.0	0.10	-	-	-	-		
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	W	R		3.0	0.20	-	-	-	-		
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W	R		3.0	0.20	-	-	-	-		
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	W	R		1.0	0.20	-	-	-	-		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	W	R		3.0	0.10	-	-	-	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W	R	LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。	4.0	0.20	-	-	-	-		
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	-	-	3.0	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-	-		
	1 消火剤	W			-	-	-	-	-	-		
	2 発泡剤(断熱材等)	W			3.0	0.50	-	-	-	-		
	3 冷媒	W			3.0	0.50	-	-	-	-		
LR3 数地外環境									0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮	W		ライフサイクルCO2排出率が参照値に対して69%	4.2	0.33	-	-	-	-	4.2	
2	地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	-	-	3.0	
	2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-		
	2.2 温熱環境悪化の改善	G	W	H	3.0	0.50	-	-	-	-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-		
	1 雨水排水負荷低減		R		3.0	0.25	-	-	-	-		
	2 汚水処理負荷抑制		R		3.0	0.25	-	-	-	-		
	3 交通負荷抑制		R		3.0	0.25	-	-	-	-		
	4 廃棄物処理負荷抑制		R		3.0	0.25	-	-	-	-		
3	周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	-	-	3.2	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	-		
	1 騒音				3.0	1.00	-	-	-	-		
	2 振動				-	-	-	-	-	-		
	3 悪臭				-	-	-	-	-	-		
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	-		
	1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-	-		
	2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-	-		
	3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-	-		
	3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-	-		
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-	-	-		
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-	-		

17007

プラウド宮前平

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に基づいています。